

第83回講演会ドットコム主催読書会

後援/スマイル企画、パロル舎、現代書館、マルジュ社、風涛社、社会評論社、批評社、図書新聞、パピルスあい、白順社、凱風社

著者と読む読書会

小嵐九八郎と読む『真幸くあらば』

小嵐九八郎【著】/講談社文庫/860円

ゲスト

こあらし くはちろう
小嵐 九八郎



歌人としての筆名は米山信介だったが、現在は小嵐九八郎に統一。
「未来」短歌会にて岡井隆に師事。
方言を大胆に取り入れた軽快な作風を、小説においても短歌においても統一している。
1994年、『刑務所ものがたり』で第16回吉川英治文学新人賞受賞。

著書

- 『鉄塔の泣く街』1991年6月 実業之日本社
- 『清十郎』1992年7月 文藝春秋
- 『おら木の選挙』1993年10月 講談社
- 『刑務所ものがたり』1994年10月 文藝春秋
- 『いっさい、一妻ブルース』1996年4月 講談社
- 『真幸くあらば』1998年11月 講談社
- 『蜂起には至らず—新左翼死人列伝』2003年4月 講談社
- 『水漬く魂』全6部 2007年 河出書房新社

歌集・その他

- 『川崎山王町 小嵐家の台所—都会でできる田舎暮らし』2000年4月 青樹社
- 『妻をみなおす』2004年3月 ちくま新書
- 『明日も迷鳥』2010年 短歌研究社

他 多数

テキスト

まさき
『真幸くあらば』

小嵐九八郎【著】講談社文庫/860円



触れあうことも許されない死刑囚との密やかな恋。
衝動殺人で死刑囚となった南木野淳。他の女と寝ていた婚約者を殺された榊原茜。
弁護士との勧めで茜は拘留所の淳を訪ねる。

交わるはずのなかった二人は、奇蹟の恋におちた。
差し入れの聖書の行間に書き込まれた秘密通信だけが真実を語る。
死刑執行までの愛。人が人を裁く意味を深く考えさせる慟哭の純愛小説。

講談社 BOOK 倶楽部 より抜粋

* テキストは各自でご用意下さい

開催日 201年 7月 10日 (日)

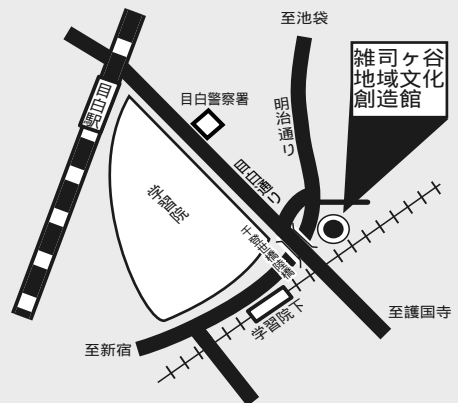
開場 午後 1時 30分

開演 午後 2時

終了 午後 4時 (予定)

会場 千登世橋教育文化センター内
雑司ヶ谷地域文化創造館
第三会議室

参加費 1,000円 (予約 800円)
ご予約は toiawase@ko-enkai.comへ



＜最寄りのアクセス＞ 東京メトロ副都心線雑司ヶ谷駅 徒歩 份
JR目白駅・高田馬場駅 徒歩 12分 都電荒川線学習院下駅
徒歩 5分 千登世橋バス停下車 徒歩 份

* このチラシをお持ちいただいた方も参加費が 800円となります

告知

7月31日にはゲストに井家上隆幸先生をお招きして、『山田風太郎 戦中不戦派日記』
8月21日にはゲストに吉田和明先生をお招きして、『著書 戦争と伝書鳩(仮)』を開催予定です。
詳細な情報は講演会ドットコムのHP (<http://www.ko-enkai.com/public/index.php>)
または [twitter \(@koenkai\)](https://twitter.com/koenkai)にて随時お知らせ致します。